



設立趣旨

CBGM こども財団は、こどもたちを巡る貧困、虐待、いじめ、孤立などの課題解決ならびに教育、芸術文化などの振興・支援に取り組んでいる諸団体への助成・寄付等を目的として設立されました。環境問題や教育格差、自然災害など、不安定要因が増す中で、社会が健全な発展を続けていくためには、こどもたちが健やかに成長し、幾多の困難を克服して未来を切り開いていくことの支援が重要であるとの認識の下に活動を推進しています。



今回の助成活動のフォーカスポイント

私たちの現在の活動は、助成が中心ではありますが、特に次の点にフォーカスした事業に支援をしています。

- その時々の子どもの置かれた現状を正しくとらえている
- 行政では行き届かない分野・場所・人に、焦点をあてている
- 従来の考え方ややり方にこだわることなく、自由な発想やアイデアがあふれている
- 他(団体)にも発展していく余地のある企画(内容・方法)である
- 将来的に発生が予想される新たな問題をとらえたもの

財団が選定した助成事業が円滑に運営できるよう、今後も一層、助成事業を運営する団体と対話を重ね「こどもたちの健やかな未来の実現」に微力ながら寄与してまいります。

8月8日 第2期 第5回理事会を開催いたしました

第5回理事会を、オンライン(ZOOM)で開催し、理事6名および監事2名にご出席いただきました。本会では、2024年度事業計画および収支予算書等承認の件、特別寄附金の受領の件、助成先団体の選考結果の承認の件の3議案の議案可決のほか、代表理事の職務執行状況の報告が行われました。今回より、助成先団体の選考結果の承認にあたり、助成先の概要や助成事業に加えて、選考委員会の

評価ポイントを詳しく説明いたしました。理事・監事の皆様には、選考委員会の取り組みをより深く理解いただく機会となりました。2023年度の助成先につきましては、最後に記載しておりますので、合わせてご高覧ください。また、本理事会で可決された内容は、公益認定元である東京都に「事業計画書等に係る提出書」として提出し、問題なく受理されました。

助成先活動報告

「特定非営利活動法人ウイズアイ」 バリアフリー演劇オープニング演奏と鑑賞会

2023年11月4日（土）清瀬市コミュニティープラザにて「バリアフリー演劇鑑賞会」が開催されました。バリアフリー演劇とは、手話、字幕、音声ガイドがついた、聴覚障害、視覚障害の人も楽しめる情報のバリアフリー演劇です。舞台にはスロープがついており、こどもや障害のある人（車いすや杖を使った歩行の方）も簡単に舞台に上がることができ、また劇中も、演者だけでなくだれでも自由に舞台に上げられるようにしていました。

このバリアフリー演劇のオープニングでは、ウイズアイの家族交流会「きらきら」のメンバーによる楽器演奏が披露されました。障がいのあるお子様4名とご家族5名でのトーンチャイム*による「きらきらぼし」の演奏と、浜田泉美氏（声楽家、保育士）と武居華子氏（音楽療法士、ピアノ講師）のリードによる来場者全員での「ふるさと」の合唱が行われました。子どもから大人まで、障がいのある人もない人も、みんなが同じ空間で音楽を楽しむ、なごやかな時間になりました。

演奏後はご家族全員で、バリアフリー演劇「Touch～孤独から愛へ」を鑑賞しました。制限のない自由な空間での演劇鑑賞は、ご家族も安心して楽しめる特別な機会になったようです。

*トーンチャイムとは、ハンドベルが改良されて作られた楽器で、アルミ製のパイプでできています。軽くて、楽器を振るだけで音が出せます。

頂いた感想

家族交流会きらきらの皆さんと親子でステージに立ってライトを浴びることが出来るなんて！
客席の皆さんの顔もニコニコしていて、温かい拍手をいただけて、とても素敵な体験でした。

by参加のご家族

緊張した様子の子どもたちでしたが、最後まで演奏してくれました。会場が温かい雰囲気に包まれました。
このような機会を下さり、ありがとうございました。

by ご担当者

ウイズアイ様の助成事業は、来年1月には「障がいのあるお子さんとその家族の災害への備え（勉強会）」、3月には「スプリングコンサート」、その他、支援者研修など、引き続き実施されます。そのどれもが、行政では十分に支援の行き届かない人を対象としたものであり、必須の社会課題解決に繋がる活動です。



助成先活動報告

「特定非営利活動法人 放課後 NPO アフタースクール」 ほうかご ART サポートーズプロジェクト

2023年8月29日に都内小学校で、「夏祭りイベント」が行われました。このイベントは、都内小学校内にある放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体型施設を利用している小学生が主体となり開催されました。一体型施設の利用者の多くは、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生です。こちらの小学校の約4分1の児童がこの施設を利用しています。

「夏祭り」は、実行委員8名の児童が、イベントのプログラム企画、会場の飾りつけなど、自分たちの「やりたい」ことを目一杯盛り込んだユニークなものです。会場の体育館には、100名を超える子どもたちが集まり、実行委員から、イベントの内容や安全に楽しむためのルール説明を受けた後、自分の興味あるブースに一目散に移動していました。芸術大学生のサポートで行う巨大アート制作や、スポーツバラエティー番組「SASUKE」をアレンジした障害物競争、縁日のゲーム、綿あめやかき氷コーナーなど、数々のブースが用意され、町内の夏祭りさながらです。参加者の中には、普段はあまり友だちと上手く交流が持てない子も多数参加をしていましたが、ボランティア学生等の適切なサポートで、絵を書いたり、ゲームに参加したりと、夏の思い出をたくさん作ることができたようです。



頂いた感想

「大きな紙に書くのが楽しかった！」 「花火の絵とかうちわに絵を描けてよかった！」

「いつも使わないスプレーで絵を描くのが楽しかった！」 「絵が好きでこういうことができ嬉しい！！」

by ほうかご ARTサポートーズプロジェクト 参加児童

アートの専門家、また大学生ボランティアと一緒に夏休みに継続的に芸術活動を実施。子どもたちと作る夏祭りが一段レベルアップして特別な機会となりました。また、大学生ボランティアは通常のアソビや活動も入ってもらうことで、芸術活動が引き出す子どもたちの輝きや才能を目の当たりにしていました。

夏祭りの大規模制作活動は、子どもたちはもちろん、地域ボランティア、保護者の方にも驚きと喜びが生まれました。

by ほうかご ARTサポートーズプロジェクト

今回の助成事業は、家庭環境や貧困等による体験格差、文化格差の解消に繋がる取り組みになりました。体験格差、文化格差は、これまであまり大きく取り上げられることはありませんでしたが、近年の調査では、幼少期の体験の有無が「自尊感情」などの発達に影響を与えていることがわかっており「体験格差」を解消しようという取り組みが広がっています。このイベント開催に至るまでのプロセスは全国で運営されている放課後事業に共有され、子ども主体のイベント企画のノウハウの一つとして活用されます。

CBGM こども財団—2023 年度第2期 助成先一覧

団体名	活動分野 / コンセプト	申請内容 (概要)	助成額 千円
特定非営利活動法人 FOS (フォス)	東京大学・早稲田大学などの現役大学生が立ち上げ。主に中高生に対して地域格差、経済格差、ジェンダー格差、不登校などの教育の諸問題の解消を目的とし、大学進路相談会や、模擬授業の運営、オープンチャットによる相談窓口の設置など行っている。	「探求的学び場」の運営 プログラミング講座、経営スキル講座、金融講座、社会課題解決講座などを実施。2023年秋に中高生を対象に、プログラミング講座からスタートし、実施基盤が固まり次第、地方での実地/オンラインでも開催予定。	1,200
特定非営利活動法人 Onestep 音楽スタジオ	音楽療育をテーマに、音楽やダンス、生活支援、学習支援で障害のある子を支援している。その他、「音楽を通して交流・普及啓発・情報提供事業」「子育て支援型音楽教育および指導者育成事業」「地域や学校での芸術鑑賞教室、ワークショップなどの音楽支援事業」などの活動も行っている。	絵本読み聞かせの会の開催 関東近県の保育園・幼稚園児向けに、イーゼルに乗せた大型絵本をめくりながらピアノと打楽器演奏で声楽家が歌を歌ったり、楽器演奏でクラシック音楽を演奏したりしながら絵本の歌い聞かせを開催。開催先は、公募し、開催目標は年間15施設。	1,200
特定非営利活動法人 Woods	小学生～中学生対象のフリースクールの運営と、主に東京都を中心として子ども向けワークショップ・自然の中で季節を感じるプレイパークを開催している。	特別支援的学習支援 経済的困難、学習障がい、発達障がいを抱える不登校児等のための特別支援的学習支援事業として、国語算数英語作文を中心とした学習支援及び生活支援を行う。開催地は、文京区と新座市を予定。	950
特定非営利活動法人 キッズドア	ひとり親家庭や生活保護家庭などの小学生から高校生・高校中退した生徒までを対象に、無料の学習支援や食事も提供する居場所の運営などを行っており、東京、千葉、埼玉、宮城県にておいては対面で、その他の県ではオンラインで指導をしている。	ホームページのリニューアル イベント招待・体験活動、クリスマスプレゼント企画の実施 保護者向け/子ども向けのオンラインセミナーの実施	1,200
一般社団法人 ソーシャル・アーティスト・ネットワーク	「ソーシャル・アート(アート思考・アート活用による社会貢献: 社会問題解決を図るべく、(特に社会的養護下の)子ども達の「感情」の育ち(「感情基盤」醸成)支援などを推進している。	ワークブックとガイドブックの制作 ①毎月の「気持ち」テーマに基づいた一行日記2年分と②「五感」「気持ち」「言葉」を結び付けるドリルとその手引書(ガイド)を制作し、普及推進する。	1,200
特定非営利活動法人 子どもと文化 全国フォーラム	日本中すべての子どもたちに、生の芸能・芸術と出会う機会を生み出す活動や子どもに文化体験活動を届けたい団体や個人のネットワークを広げる活動、子どもの文化権を保障できる社会システムの普及啓発活動を行う。	舞台芸術鑑賞・ワークショップ開催 舞台芸術鑑賞とワークショップをセットで行い、「受ける」ことと「表現する」ことをあわせて体験してもらう。対象は、子ども～大人までとし、子どもの参加費を無料、離島・山間部など僻地7ヶ所開催。	1,500
特定非営利活動法人 日本ピーススマイル協会	青少年の自殺とうつ病を予防し、なくすことを目的に、自己肯定感と自信、幸福度を向上する体感型ワークショップや、学校での出前授業の実施。その他、10代・学生対象の居場所カフェ、学習支援、LINE悩み相談の実施している。	自己肯定感向上と自立を促す体験機会の開催 主に中学生から大学生を対象(フリースクールや不登校などの同世代含む)に、「自己探求セルフデザイン・サマースクール」「多文化共生のクリスマス会」「詐欺に遭わないための社会授業」などのイベントを実施し、様々な人との交流や体験により多様な価値観に触れる機会を促進する。	1,200
認定特定非営利活動法人 みらいの森	野外自然体験を通し、自立と社会性を促し、自然を大切にすることを育み、併せて、実践的な外国語を習得する機会を提供する。	スノープログラム2024 児童養護施設に暮らす小中学生、高校生、職員さんなど計45名での、1泊2日のスノープログラム。	1,500
特定非営利活動法人 シャイン・オン・キッズ	小児がんや重い病氣と闘う子どもたちと家族のためのサポート。ファンリテッドッグの派遣、入院している子どもたちの兄弟姉妹を対象にした保育サービスなどを行う。	キャンプカレッジ2023 小児がん経験者とその兄弟姉妹家族を30～40名を対象に、1泊2日の交流イベントを開催。	1,500

CBGM こども財団—2023 年度第 2 期 助成先一覧

団体名	活動分野 / コンセプト	申請内容 (概要)	助成額 千円
特定非営利活動法人 HUG for ALL (ハグ・フォー・オール)	児童養護施設で暮らす子どもたちに対する支援。小学生向けの学びプログラムや、施設からの独立にむけてのサポートを行う。	施設の子どもに関わるボランティアのサポート、施設の現状を発信する活動、支援者の支援継続に繋がる施策など。	1,500
特定非営利活動法人 3keys (スリーキーズ)	虐待された子供の避難施設、相談サイトの運営のほか、教育支援を行う	相談サイト「Mex」の広告代行および SNS 広告費 相談サイトにたどり着けない子どもに対しての動画や画像を使用した広告運用を行い、利用を促進する	1,500
特定非営利活動法人 ウイズアイ	子育て不安を解消のため、仲間と共に助け合い子育てしていけるような場の提供や、不登校のこどもの支援、こども食堂の運営を行う。	家族交流会 & 人材育成 重度の心身障がい児、医療ケア児を育てているご家族同士が交流を深め、ネットワーク構築を応援する企画(クリスマスコンサートなど)を5回と、スタッフの研修を3回開催。	950
特定非営利活動法人 ブリッジフォースマイル	児童養護施設や里親家庭などで生活する子どもたちが巣立ちの際に直面するさまざまな課題を乗り越えるための支援事業を行う。	巣立ちプロジェクト 児童養護施設や里親家庭の元で生活をする高校3年生を対象としたセミナー実施、生活必需品の提供。	1,500
特定非営利活動法人 フリー・ザ・チルドレン・ ジャパン	貧困や虐待など困難な状況に置かれた子どもへの支援活動や、大規模災害で被災した子ども、地域に対して緊急復興活動を行う。	宿泊型ワークショップ開催 子ども16人程度を全国から募り、無料招待し、2泊3日の合宿型ワークショップを川崎市内の施設にて開催する。子どもの権利について理解を深め、子どもとして政策提言活動に取り組む。	1,500
特定非営利活動法人 オン・ザ・ロード	インドで貧困層対象のフリースクールや、石巻市・福島県での復興支援事業、その他、沖縄県にて海洋ゴミを活用したアート雑貨の製造・販売を行う。国際交流事業として世界中の子どもたちにオンラインでの交流学習を実施。	オンライン学習機会の提供 各国の子どもを対象に、インド・カンボジアの学校生活や教育システム、食文化、地域の様子、子ども達の遊び、将来の夢、お祭りや行事などを紹介・学習。月1回/インド・カンボジアの2か国で実施予定。	100
特定非営利活動法人 放課後 NPO アフター スクール	学校施設を活用したアフタースクール運営や、地域と連携したアフタースクールの展開、その他周辺エリアへの好影響を与えられるようプログラムや研修を企画している。	ほうかご ART サポーターズプロジェクト 市民や大学生ボランティア、芸術活動の専門家など社会の力を活用し、放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の夏休み期間にアート、ダンスなどの体験活動や実演鑑賞、宿題見守り等の学習支援を実施。	500
一般社団法人 Masterpiece	虐待を受けていたおおむね 29 歳までの若者を対象とした支援として、シェアハウスやステップハウスなどによる住居サポート、食料配送、居場所事業、手続き同行などを行なっている。	居場所事業、食料配送、シェルター事業等の充実化 居場所事業に参加する参加者の交通費や配達する食料の買い足し費用、シェアハウスの光熱費など基本事業の充実化に使用	1,050

